



大小だより



学校の教育目標

◎自ら学びよく考える子 ◎豊かな心と 丈夫な体をもつ子 ◎島を愛し 世界を理解する子

たっぷりの愛情充電を

生活指導主任

花俣 博己

<p>命はとて大切だ 人間が生きる電池みたいだ でも電池はいつか切れる 命もいつかはなくなる 電池はすぐにとりかえられるけど 命はそう簡単にはとりかえられない 何年も何年も月日がたって やっと神様から与えられるものだ 命がないと、人間は生きられない でも 「命なんていららない。」 と言って 命をむだにする人もいる まだたくさん命がつかえるのに そんな人を見ると、悲しくなる 命は休むことなく働いているのだから 私は命が疲れたと言うまで せいっぱい生きよう</p>	<p>命</p> <p>宮越由貴菜</p>
--	-----------------------

最近、「命とは何か」考えさせられる悲しい出来事が多いです。その度に、心がえぐられるような言葉にならない気持ちになります。日本中が、世界中の人々が、生きているうちに一度は「命」について考えたことがあるのではないのでしょうか。

本日、終業式で子供たちに「命」という詩を紹介しました。小学4年生の宮越さんは、この詩を書いた4か月後に、病気のため天国へ旅立ちました。こうした世の中だからこそ、宮越さんが改めて「命」との向き合い方について私たちに教えてくれているように思います。

この詩を聞いて、子供たちは真剣に「命」について考えている様子でした。私たち大人もまた、子供たち一人一人が、「かけがえのない存在であること」「常に味方であること」を、素直に伝えることが大切なのだと思います。保護者の皆様には、夏休みを利用してたっぷりの「愛情充電」をしていただけると、幸いです。

本日で1学期が終了し、明日から夏休みになります。今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、様々な対策を講じての学校生活となりました。ご負担をかけることも多くありましたが、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をいただき、夏休みを迎えることができますことを、心より感謝申し上げます。

夏休みということで、普段と違いより多くの方が島を訪れる時期でもあります。交通事故やトラブルにも遭わないように気を付けてください。元気で安全に過ごすために、別紙「楽しい夏休みを送るために」をお子さんと一緒にご確認ください。休み明けに、心も体も一回り成長し元気に登校してくる子供たちに会うことを楽しみにしています。

【感染症予防について】

- ① 3密「密閉・密集・密接」の状況を避け、正しい手洗い、咳エチケットに努めましょう。
- ② 毎朝検温、健康観察をしましょう。(家族の皆さんも一緒をお願いします。)
- ③ 行動先や一緒に行動した人を覚えておきましょう。(記録しておくといいです。)
- ④ 発熱等、体調に不安があった場合は、かかりつけ医、または、東京都発熱相談センター(03-5320-4592)に電話相談をしましょう。